

呉市都市計画マスタープランの改定に係る説明会(川尻地域)

1 都市計画マスタープランの概要

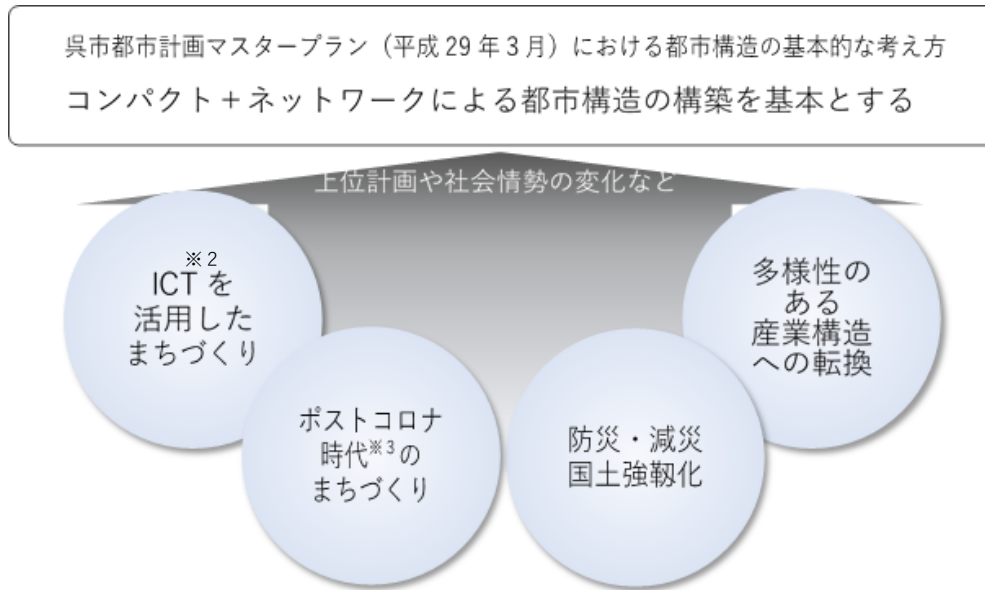
(1) 策定の目的

都市計画マスタープランは、「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けての道筋を明らかにするもので、上位計画である第5次呉市長期総合計画や広島県が策定する広島圏域都市計画マスタープランに即して策定します。

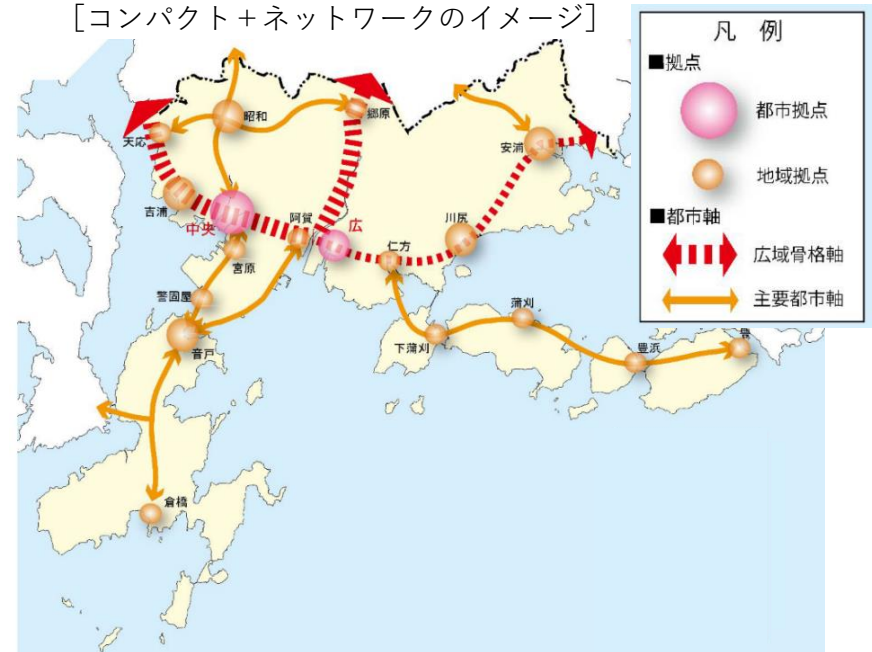
(2) 改定の基本的な考え方

現行の都市計画マスタープランの基本的な考え方を引き継ぎ、「コンパクト+ネットワーク^{※1}」の都市構造の構築を目指すことを基本とし、それに加えて、上位計画や近年の社会情勢の変化などを反映します。

[改定都市計画マスタープランのイメージ]



[コンパクト+ネットワークのイメージ]



※1 コンパクト+ネットワーク：公共交通にアクセスしやすい場所に、居住機能や医療、福祉、商業等の都市機能等を集積させることで、都市サービスの効率化を図り、持続可能な都市を目指すための都市施策

※2 ICT：通信技術を活用したコミュニケーション

※3 ポストコロナ時代：新型コロナウイルス危機を契機として、働き方・暮らし方に対する人々の意識や価値観に変化・多様化が生じた社会

2 全体構想

(1) 都市づくりの基本理念、都市の将来像及び都市計画の目標

<都市づくりの基本理念>
つながり、にぎわい、誰もが住み続けたい都市「くれ」
～人が中心、安全で持続可能な都市を目指して～

都市の将来像1

持続可能で、質の高い生活を実現する
コンパクトでスマートな都市「くれ」



都市計画の目標1

コンパクト+ネットワークの取組による持続可能な都市構造の構築

都市計画の目標2

新技術の活用によるスマートシティ※4の実現

都市の将来像3

心地よい暮らしが人々を惹きつける
魅力ある都市「くれ」



都市計画の目標4

居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちなか※5の形成

都市計画の目標5

利便性と自然の豊かさを備えた都市の実現

都市の将来像2

多様な産業が生まれ育ち
活力あふれる都市「くれ」



都市計画の目標3

多様性のある強靱な産業構造の構築のための都市機能強化

都市の将来像4

安全に住み続けられる
強靱な都市「くれ」



都市計画の目標6

人命と財産を守る強靱な都市づくり

※4 スマートシティ：都市や地域が抱える様々な課題に対して、AIやIoTなどの新技術を活用して計画、整備、管理・運営等のマネジメントが行われた持続可能な都市

※5 ウォーカブルなまちなか：居心地が良く、歩いたり滞在したりすることで、多様な人々が集い、交流することのできる人中心のまちなか空間。

(2) 将来都市構造

[将来都市構造図]

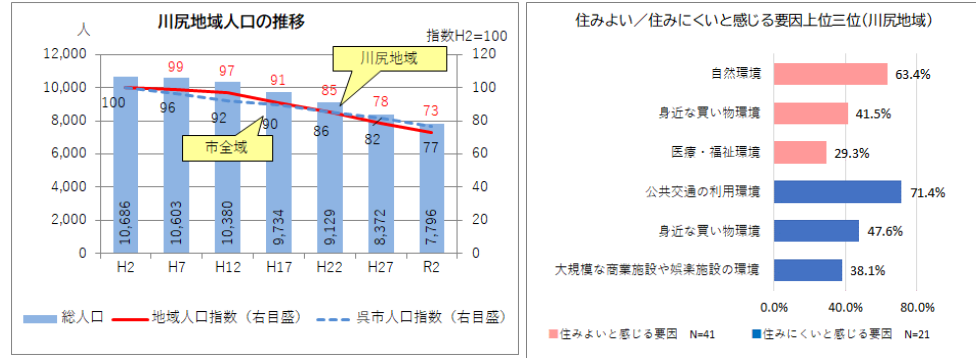


3 地域別構想（川尻地域）

(1) 地域の役割 地域拠点，生産流通拠点

(2) 地域の概況と特性

- ・市全域同様に人口減少の割合が大きく，少子高齢化が進展している（地域人口：7,796人，年少人口割合：9.4%，高齢化率：39.9%）。
- ・日常生活を支える身近な買い物環境の充実が望まれている。
- ・野呂山では，キャンプ場など自然環境を生かしたまちづくりが行われている。
- ・日常の移動を支える公共交通の利用環境の充実が求められている。



(3) 分野別の都市づくりの方針に基づく施策など

ア 土地利用の方針

- ・都市機能及び居住の誘導によるコンパクトな市街地の形成
- ・産業の集積に向けた土地利用の促進
- ・瀬戸内の魅力を生かしたまちづくりの推進（野呂山キャンプ場などの施設の利活用の推進）

イ 交通体系の整備の方針

- ・道路ネットワークの構築（市道川尻本線1号の整備，国道185号バイパスの整備検討など）
- ・円滑な移動を実現する公共交通ネットワークの形成（JR安芸川尻駅のバリアフリー化の推進）など

ウ 都市施設の整備・維持管理の方針

- ・効率的かつ効果的な施設整備と維持管理の推進

エ 都市の防災・減災，強靱化の方針

- ・防災対策事業の推進（国道185号バイパスの整備検討など）

オ 都市環境の保全・形成の方針

- ・呉らしさを体感できる景観の保全・形成 など

川尻地域の都市づくりの方針図

